

○平成 26 年度 第 3 回 水工学委員会幹事会

日 時：平成 26 年 11 月 7 日（金）12:00～12:35

場 所：土木学会講堂（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）

出席者：朝位孝二、浅沼順、石平博、泉典洋、市川温、今村正裕、江種伸之、大槻英樹、鬼束幸樹、風間聡、門田章宏、川池健司、川越清樹、河原能久、神田圭一、神田学、木内豪、木村一郎、篠田成郎、清水義彦、杉原裕司、角哲也、関根正人、竹林洋史、立川康人（幹事長）、田代喬、田中規夫、田中仁、田中昌宏、知花武佳（編集幹事長）、堤大三、藤堂正樹、戸田祐嗣、富永晃宏、中嶋規行、中津川誠、二瓶泰雄、馬場康之、原田守博、松田寛志、道奥康治（委員長）、武藤裕則、安田陽一、渡辺勝利、渡邊康玄（50 音順、敬称略）

議 題：

《報告事項》

1. TC113 の日本開催について（2015 年 5 月 25 日（月）～29 日（金））
2. H27 河川技術シンポジウム（平成 27 年 6 月 10（水）、11 日（木）、東京大学）
3. H27 水工学に関する夏期研修会（平成 27 年 8 月 24 日（月）、25 日（火）、横浜国立大学）（資料 1）
 - 講義集のカラー化が望ましい。原稿を白黒、CD をつけてカラー原稿をいれるなどを検討してはどうか。
 - テーマとして環境を軸にするのはよいと思われる。毎年同じような内容としない方がよい。
 - 会員・非会員の区別を考えていくことを考えていくことが望ましい。
4. H27 水シンポジウム福井（平成 27 年 8 月 27 日（木）、28 日（金）、アオッサ福井県民ホール）
 - 一つのセッションを基礎水理部会が担当する。
5. H27 年度 第 60 回水工学講演会の開催について（H28 年 3 月第 2 週 東北工業大学）
 - 次の水工学委員会で日が決定される。
6. 各部会、小委員会、関連委員会の活動報告・計画（第 2 回幹事会以降の情報があれば）
 - 河川部会（資料 2）
 - 流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ（11 月 25 日（火）14 時～土木学会講堂）（資料 3）
 - CommonMP の要素モデル公開（旧土木学会水工学委員会水理・水文ソフトの共通基盤に関する小委員会）（資料 4）
7. その他
 - 土木学会論文編集委員会：
 - ✓ 水工学論文集の XML 化に対応するために、水工学論文集の論文フォーマットを 1) 通常号に揃える、2) 海岸工学で作っているソフトを使って現状のフォーマットを使う、のいずれかを近いうちに判断する必要がある。
 - ✓ 土木学会の出版物すべて（年次学術講演会概要集、土木学会論文集特別号を含めて）について著作権の譲渡書を提出することが理事会で決定された。今回の水工学論文集は対応の必要はないが、次年度は対応する必要がある。投稿システムでの電子入力でもよいとのことなので、次年度の投稿用ホームページを修正することで対応可能と考えられる。
 - 来年 3 月の水工学講演会（早稲田大学）は順調に準備が進んでいることが報告された。

《協議事項》

「土木学会学術文化事業」指定型への寄付金を用いた賞の創設について

- 水工学委員会が設置する賞として、水工学論文賞と同列の扱いの賞を創設することを考えたい。
- 3月の水工学委員会で賞の名称や対象の原案が出される予定であり、それをもとに意見交換して最終的な合意を諮りたい。
- 水工学論文集は土木学会論文集の特別号であり、河川技術論文集は委員会論文集をあえて選択している。それらの違いがあることを認識して名称を考える必要があるのではないかという意見があった。一方で、両論文集の歴史を認識した上で、両方とも名称は「〇〇論文賞」でもよいとの意見もあった。

○第2回水工学論文集小委員会

日 時： 平成 26 年 11 月 7 日（火） 13:00～17:00

場 所： 土木学会講堂（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）

議 題：

1. 査読結果の審議
2. その他